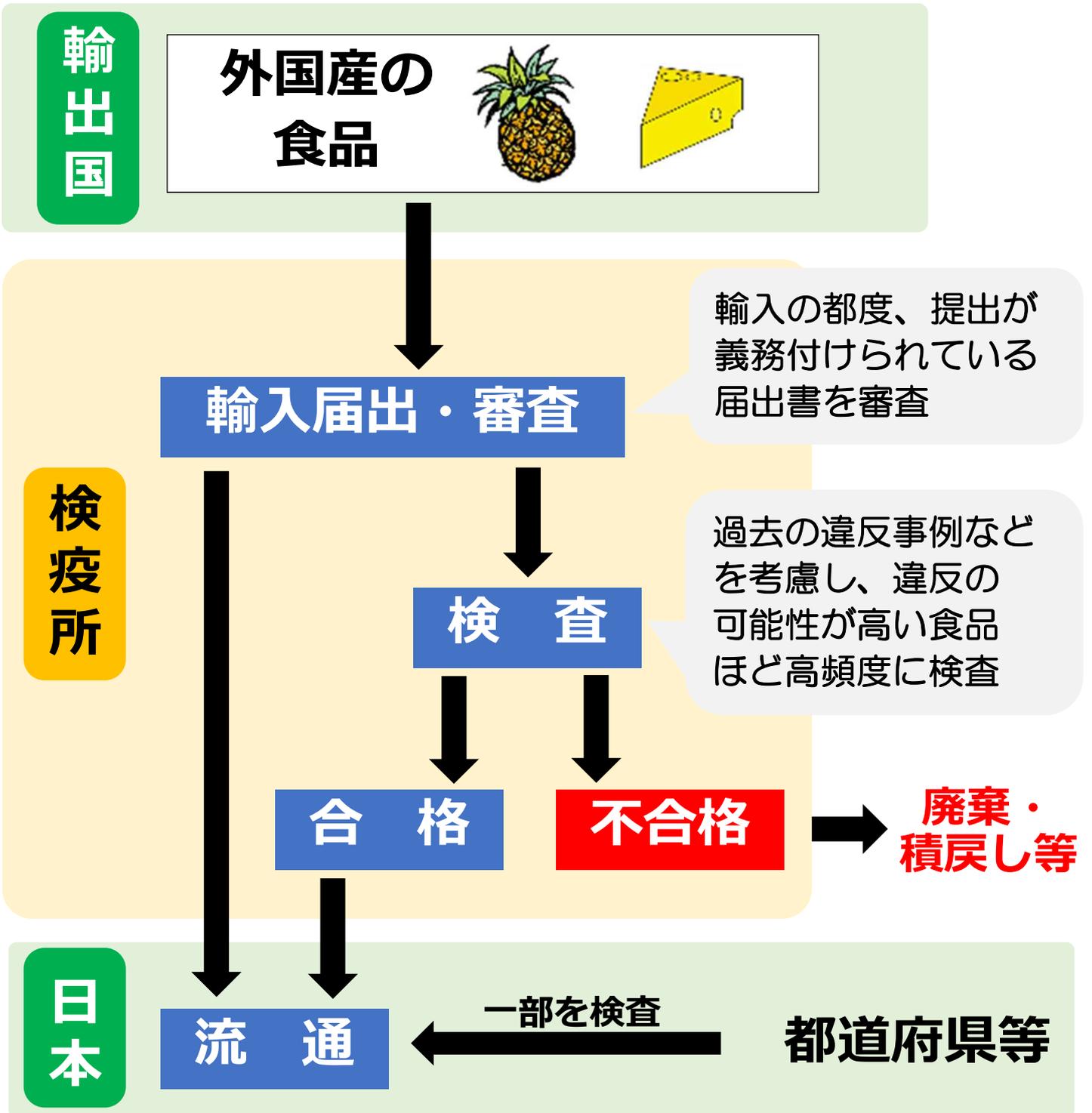


輸入食品の安全確保の仕組み

日本は年間3,400万トン以上の食品を輸入しています。輸入食品の安全性を確保するため、全国の検疫所などで輸入食品の監視・検査が行われています。

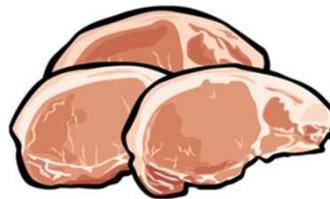
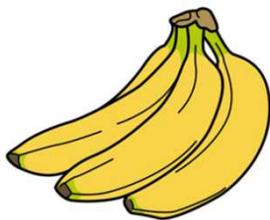


Q

何件くらい検査しているのですか？

A

- ◆ 検疫所によるモニタリング検査として、今年度は **農畜水産物**・**加工食品** など **99,700件** 実施予定です。
- ◆ また、違反の可能性が高い食品について検疫所が輸入者に検査を命じたり、都道府県等が流通後の輸入食品を抜き打ちで検査しています。
(新潟県では今年度 **200件** 実施予定)



Q

どんな項目を検査しているのですか？

A

残留農薬、**抗生物質**、**添加物**、**病原微生物**、**カビ毒**、**遺伝子組換え** などの項目を検査しています。